

## 解 答

- ① 問1 ア  
問2



問3 5月3日 問4 ① 7月6日 ② 7月2日 ③ 6月17日 問5 B 11月10日

C 11月10日 D 12月10日 問6 1 特徴 等期日線は、南から北へ移っていく。原因 サクラは、気温が高くなると開花する。日本では、南の地方ほど早く気温が高くなるから。 2 特徴 急なまがりがみられるところがある。原因 同じ緯度の地域でも、山間部では気温がまわりより低いから。

- ② 問1 7 問2 イ 問3 ウ 問4 ウ

## 解 説

- ① 問4 ①強羅は小田原より490m (520-30) 高いので、気温が小田原より $2.94^{\circ}\text{C}$  ( $0.6 \times \frac{490}{100}$ )  $^{\circ}\text{C}$  低くなります。したがって、強羅の気温が、アジサイが開花する $20^{\circ}\text{C}$ のとき、小田原の気温は $2.94^{\circ}\text{C}$ 高い $22.94$  ( $20 + 2.94$ )  $^{\circ}\text{C}$ となり、これはグラフから7月6日になります。②宮の下、③塔の沢も同じように求めることができます。
- 問5 カエデの紅葉は、北から南へ、高地から低地へと移っていきます。よって、BはAより10日おくれの11月となり、Cは高地になるのでBと同じくらいになります。また、Dは温暖な海岸地方なので紅葉はさらにおそくなります。
- ② 問1 地面にできる円の直径をXcmとすると、140万:1億5000万=X:750となり、Xは7cmになります。
- 問3 サクラの冬芽は、上から見ると左巻きでらせん状に枝についています。
- 問4 落葉樹林では、春に日光を受けて下草が育つことができますが、常緑針葉樹林(ア)や常緑広葉樹林(イ)は一年中林の中に光が届きにくいので、下草があまり育ちません。